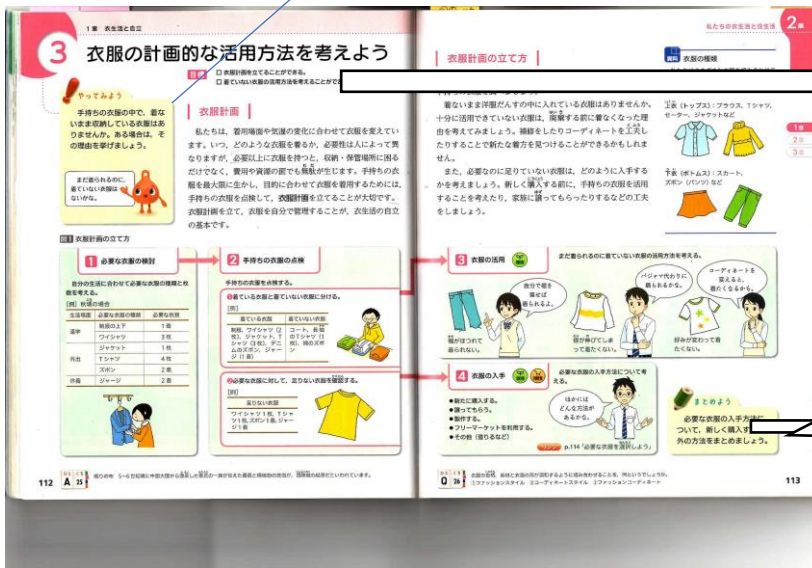


【家庭科編】

1 教科書の学習

① 単元ごとに「やってみよう」を読んで考えみよう！



*目標はここをみよう！

*自分の振り返りができたらまとめとめる

ここでは、自分が持っている衣服を考え、「よく着ている服」「あまり着ていない服」を考え、普段の手入れの仕方を考えながら、どんな時に「衣服を購入するのか」「目的を持って購入しているか」なども考えさせ、あまり着なくなった衣服や小さくなった衣服の活用方法も考えていく。

② ワークやプリントの活用

ワークやプリントの活用で、本時の単元をどれだけ理解できているかを確認していくと共に、普段の生活にも活用できるようにしていく。

2 ポイント

それぞれの学年で出されている課題に限らず、「料理・洗濯・掃除・弟妹の世話」など家族の一員として、今だからこそできることを考えて自分ができるところを増やし、できることをたくさん増やしていく。

3 評価と観点と方法

	知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	主体的に学習に 取り組む態度
評価の観点 と趣旨	それぞれの課題や問題点を考えさせ、どう活用させていくのかをまとめる。 基礎技能を中心に組み合わせ、身につかせてい。	自分たちの生活で、何を一番に考えていかなければならないのか。またどう取り組んでいくのかを課題の解決に向け、選択・判断をしたり、思考・判断したことについて議論したりしている。	よりよい生活をしていくために、どのようなことを意識していくのか。また取り入れて行くのか。
評価方法	小テスト 授業の発問 定期テスト	定期テスト ノートの活用・プリント 話し合い活動 発問に対する解答	授業態度・提出物 ワークやプリント

4 授業の受け方・ポイント

- 单元ごとに、それぞれの課題や目標が出てきます。その課題に向けて、「なぜ？」という疑問を持ちながら課題に取り組んでほしいと思います。
- 授業は積極的に「発言するのは恥ずかしい」「間違ったらいやだから」の考えはやめましょう。そこからまた、考えていく力と意識を高めていきます。

5 家庭学習

- **定期テスト前だけでは学習の効果は低くなります。普段の生活に少しずつ取り入れながら学習していくことが大切です。**
- **プリントやワークなどポイントを押さえておくことが大切です。**
- **実践をすることでできることを増やしていきましょう。**